
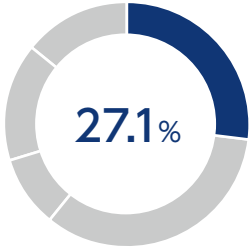

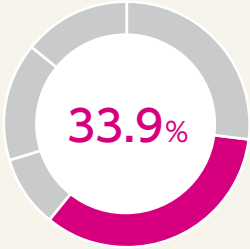

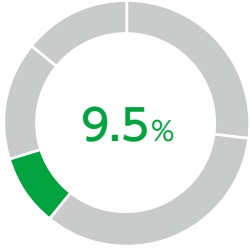

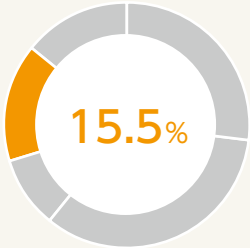

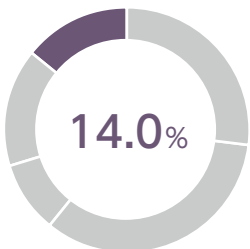
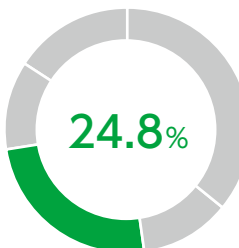


# 京王グループの事業

	事業内容	営業収益／構成比
運輸業	 <p>基幹事業である鉄道事業の他にバス、タクシー、貨物輸送などさまざまな運輸事業を行っています。安心・安全でお客様から信頼される交通サービスの提供に努め、運輸事業を通じて地域社会の発展に貢献します。</p>	 <p>27.1%</p> <p>1,296億円</p>
流通業	 <p>多種多様な事業を展開し、時代に適した商品とおお客様の満足を第一に考えたサービスで、京王沿線を中心としたお客様の毎日の暮らしをサポートし、より豊かな生活への提案を行っています。</p>	 <p>33.9%</p> <p>1,621億円</p>
不動産業	 <p>土地・建物の売買やリノベーション、駐車場の運営などを通じてお客様のさまざまなニーズに応え、質の高い商品とサービスを提供しています。</p>	 <p>9.5%</p> <p>453億円</p>
レジャー・サービス業	 <p>お客様に心の豊かさとうるおいある生活ステージを提供するために、お客様とのコミュニケーションを大切にしながら上質で安心できるサービスを展開しています。</p>	 <p>15.5%</p> <p>740億円</p>
その他業	 <p>「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」の実現に向けて、幅広い事業を手掛けています。京王グループの総合力を基盤にして、きめ細かなサービスや長年培った高い技術力を提供しています。</p>	 <p>14.0%</p> <p>670億円</p>

営業利益／構成比	2020年3月期の事業概況	主要な会社名
 <p>36.0%</p> <p>133億円</p>	<p>鉄道事業では、雇用情勢の改善や沿線人口の増加に加え、座席指定料金収入の増加などがあったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより、旅客運輸収入が1.9%減、鉄道事業の営業収益合計が1.5%減となりました。また、バス事業においても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により路線・高速などで減収となりました。これらの結果、営業収益は1,296億円(前期比1.9%減)、営業利益は133億円(前期比9.3%減)となりました。</p>	<p>京王電鉄(鉄道)、京王電鉄バスグループ、西東京バス、京王自動車グループ、京王運輸</p>
 <p>11.9%</p> <p>44億円</p>	<p>百貨店業では、天候不順や消費税率引き上げの影響に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による訪日外国人旅行者の急激な減少や外出自粛、営業時間短縮等による来店客数の減少などにより減収となりました。一方、ストア業では、前年度に開業した店舗が寄与したほか、衛生用品や食料品の売上増などがあり増収となりました。これらの結果、営業収益は1,621億円(前期比2.5%減)、営業利益は44億円(前期比14.4%減)となりました。</p>	<p>京王電鉄(ショッピングセンター)、京王百貨店、京王ストア、京王書籍販売、京王バスポートクラブ、京王アートマン、京王食品、京王グリーンサービス</p>
 <p>24.8%</p> <p>91億円</p>	<p>不動産賃貸業では、前年度に取得した物件が寄与したことなどにより増収となりました。一方、不動産販売業では、リノベーション物件や投資用マンションの売上減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は453億円(前期比9.3%減)、営業利益は91億円(前期比2.5%減)となりました。</p>	<p>京王電鉄(開発)、京王不動産、京王地下駐車場、リビタ、京王重機整備(賃貸)</p>
 <p>11.7%</p> <p>43億円</p>	<p>ホテル業では、前年度に開業した「京王プレミアホテル 京都烏丸五条」、2019年5月に開業した「京王プレミアホテル 札幌」が寄与したものの、新型コロナウイルスの感染拡大により、宿泊および料飲・宴会の需要が急速に減退したことなどにより減収となりました。また、旅行業においても、取扱高の減少などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は740億円(前期比7.9%減)、営業利益は43億円(前期比37.8%減)となりました。</p>	<p>京王プラザホテル、京王プラザホテル札幌、京王プレッソイン、京王プレミアホテル京都、京王プレミアホテル札幌、京王観光、京王エージェンシー、京王レクリエーション、レストラン京王</p>
 <p>15.6%</p> <p>57億円</p>	<p>ビル総合管理業や車両整備業では、受注増などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は670億円(前期比2.8%増)、営業利益は57億円(前期比9.7%増)となりました。</p>	<p>京王設備サービス、京王重機整備(車両整備)、東京特殊車体、京王建設、京王ITソリューションズ、京王アカウントティング、京王ビジネスサポート、京王ユース・プラザ、京王シンシアスタッフ、京王子育てサポート、京王ウェルシステージ、京王フェアウェルサポート</p>

※記載の金額には、セグメント間取引を含みます。  
 ※構成比率は、セグメント間取引を含む営業収益、営業利益に対する比率です。